キャリアアップ通信

Vol.1　7月号

発行：医療局職員課

はじめに

皆さん、こんにちは！岩手県医療局職員課人事担当です。岩手県立病院ではたくさんの職種の職員が働いていますが、その中で多くの職員が認定資格等を取得し、専門性を生かし活躍しています。医療局では働きながら資格取得できるよう様々な制度で支援を行っており、これらの制度を利用して資格取得した職員を紹介し、岩手県立病院の魅力を発信するために「キャリアアップ通信」を発行することとしました。

岩手県立病院への就職希望の学生の皆さん、そして県立病院で働いている職員の皆さんの今後の参考となればと思いますので、ぜひお読みください。

認定看護師への道

（緩和ケアなど 17 分野 97 名）

特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる看護職員を養成しています！

【対象】・概ね看護師経験５年以上（うち認定看護分野での実務３年以上）で 40 歳以下の看護職員から選考

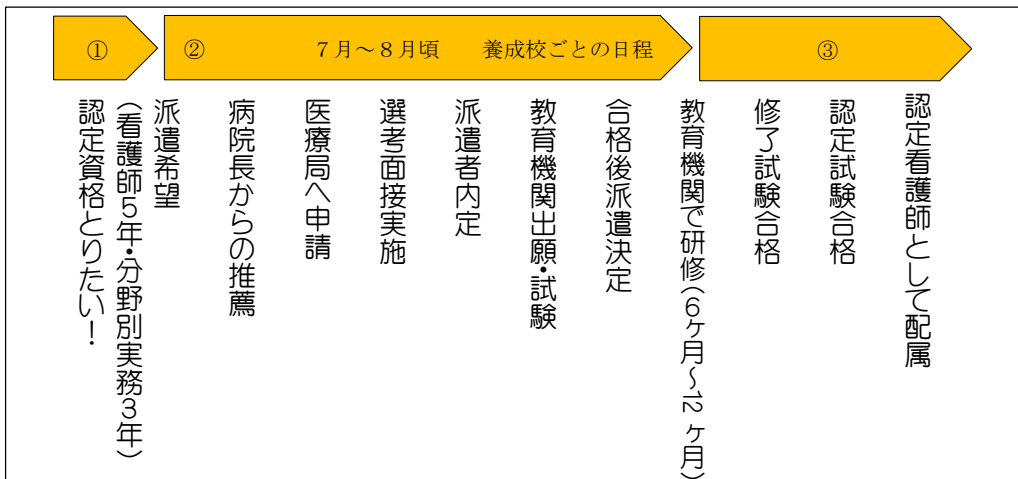
・派遣機関の入学試験に合格し受入が認められた者

【服務の取り扱い】

- 派遣中は出張の取り扱いとし、旅費等を支給
- 派遣中も**給与を支給**
- 入学試験及び修了試験等に出席するための旅費を支給

【取得までの流れ】

① → ②　７月～８月頃　養成校ごとの日程 → ③

- 認定資格とりたい！（看護師5年・分野別実務3年）
- 派遣希望
- 病院長からの推薦
- 医療局へ申請
- 選考面接実施
- 派遣者内定
- 教育機関出願・試験
- 合格後派遣決定
- 教育機関で研修（6ヶ月～12 ヶ月）
- 修了試験合格
- 認定試験合格
- 認定看護師として配属

助産師への道（内部養成）

（内部養成助産師４名）

県立病院で働く看護師のなかで、助産師として働く意欲のある方は、医療局において支援し資格取得のサポートを行います！

【対象】・在職１年以上かつ、概ね３０歳未満の看護職員から選考

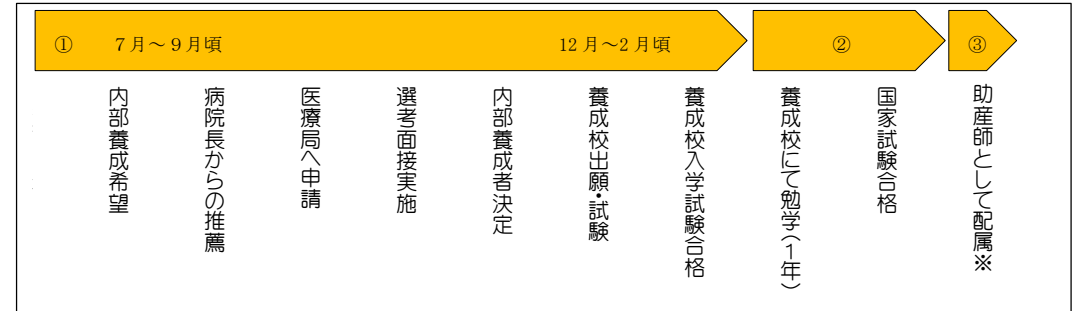
・教育機関の入学に合格し、受入が認められた者

【服務の取り扱い】

- 派遣中は出張の取り扱いとし、旅費等を支給
- 派遣中も**給与を支給**
- **入学検定料、入学金、授業料等は医療局負担**

【取得までの流れ】

①　７月～９月頃　12 月～2 月頃 → ② → ③

- 内部養成希望
- 病院長からの推薦
- 医療局へ申請
- 選考面接実施
- 内部養成者決定
- 養成校出願・試験
- 養成校入学試験合格
- 養成校にて勉学（1年）
- 国家試験合格
- 助産師として配属※

※助産師免許取得後の配属先は県北・沿岸の病院になります。

認定薬剤師への道

（がん薬物療法など５分野 48 名）

高い専門性が求められる特定領域の認定薬剤師を養成しています！

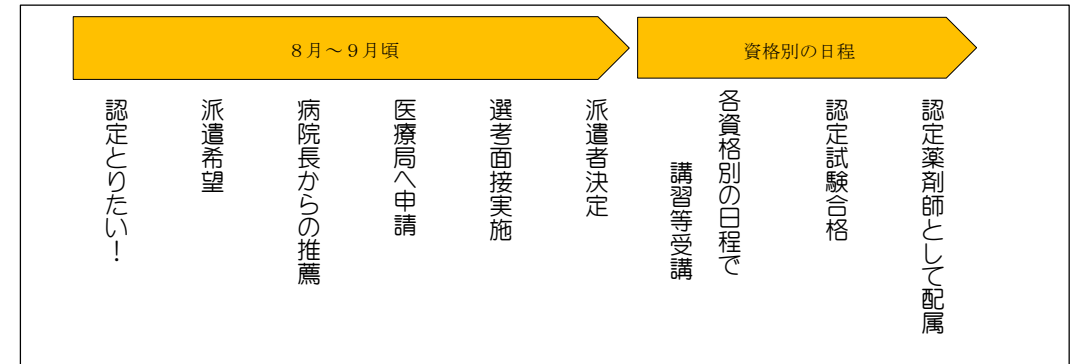
【対象】

特定領域の認定資格取得を志す薬剤師から選考

【服務の取り扱い】

- 講義研修及び認定申請に必要な講習会の受講や認定試験受験のための旅費を支給
- **研修、講習会等参加費、認定試験受験料、認定審査料及び認定料は医療局負担**

【取得までの流れ】

【問合せ：医療局職員課人事担当 ☎019-629-6861　研修担当☎019-629-6321】

緩和ケア認定看護師･認定看護管理者

胆沢病院　看護事務室　総看護師長

伊藤　ゆかり　さん

Q　資格取得のきっかけを教えてください

勤務していた内科病棟で痛みに苦しむ患者の状態を主治医に的確に報告が出来ず、指示を貰うことが出来ませんでした。患者の最期の時間を苦しみの中で過ごさせてしまった申し訳なさから、専門的知識･技術の必要性を感じ資格取得に至りました。

Q　取得までの流れはどうでしたか

脳神経外科･手術室･整形外科･泌尿器･消化器外科･耳鼻科･消化器内科等での実務経験を経て医療局の「認定看護師教育課程派遣募集」に応募。派遣内定を頂き、認定看護師教育課程を受験。学内での研修、緩和ケア病棟での実習を含め 6 か月間の研修を修了。認定審査に合格し資格取得。学校受験から認定審査まで 1 年半を要しました。

Q　研修中の様子を教えてください

「緩和ケア」分野は、課題レポートが他の分野より多く、常に提出締め切りに追われる日々でした。同じ志を持つ仲間と励ましあいながら頑張れた時間はかけがえのない宝物になっています。研修期間の半年間は、実現したい目標に向かって勉強だけに集中出来た贅沢な時間でした。

Q　資格取得後の院内での活動を教えてください

資格取得後、県立中央病院で緩和ケアチームの立ち上げに関わり 4 年間チームの専従看護師として院内横断的に活動。その後、中部病院へ異動となり新設の緩和ケア病棟看護師長としてスタッフと共に病棟運営に携わると共に研修を通じ緩和ケアの啓発活動を行ないました。また、緩和ケア認定看護師教育課程の実習施設であり、指導者として後進育成に努めました。

Q　現在、総看護師長として管理業務を行っていますが、認定看護師としての経験が役立っていることはありますか

資格取得後から 15 年が経過し、現在は総看護師長として管理的役割を担っています。ケアの対象は患者･家族からスタッフへと変わりましたが認定看護師活動で培ったコミュニケーションの技術は人材育成の場で活かされています。また、認定看護師としての経験が認定看護師達の活動支援や後進育成の場面で役にたっています。立場が変わっても現状をしっかり捉える事で認定看護師としての役割は果たせると感じています。

Q　これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします

資格取得後、学んだ知識･技術を現場でどのように活かしていくのかという考えを明確にして研修に望む事をお勧めします。研修中、先が見えなくなった時に道標になります。また、目指す分野に関連する委員会活動を通じて仲間づくりをする。資格取得後の活動を支援してくれる大きな力になります。

私が岩手県立病院を選んだ7つの理由　☆絶賛 YOUTUBE で公開中　宮古オールロケのショートドラマも併せてご覧下さい！

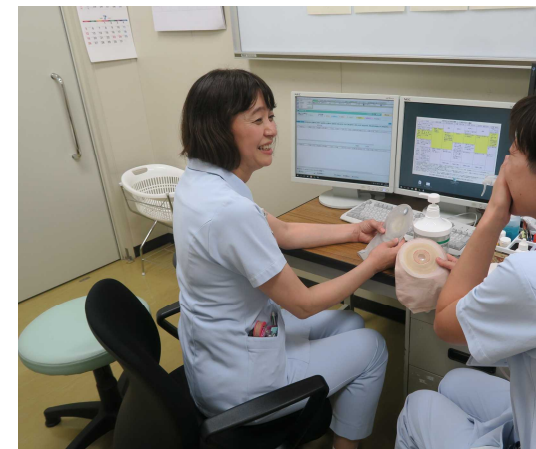
岩手県立病院　検索

7つ理由

ショートドラマ

皮膚・排泄ケア認定看護師　創傷管理関連特定行為教育課程修了

中央病院　看護事務室　特任看護師

小野寺　直子　さん

Q　<u>資格取得のきっかけを教えてください</u>

私が就職した頃はまだ認定看護師制度はありませんでしたので、認定看護師を目指すというよりは、「ストーマ造設患者さんのケアについてもっと深く勉強して、お役に立てるようになりたい」という思いが最初にありました。その後ストーマケアに携わっていく中で、目標となる皮膚・排泄ケア認定看護師の存在があり、具体的に目指そうと考えることができました。

Q　<u>取得までの流れはどうでしたか</u>

実は、研修学校受験前に病気がみつかり、そのまま病休に入ってしまうというアクシデントがありましたが、復帰後にまたチャレンジできる機会を頂きました。

受験前は、皮膚・排泄ケア分野に関連する学会や研修会に参加し自己研鑽を積む日々でした。ストーマケアを中心に関わっていたので、創傷（褥瘡）ケアなど分野全体の勉強ができるように心がけていました。

Q　<u>研修中の様子を教えてください</u>

研修中は、同じ目標をもった全国の仲間と一緒に学ぶことができ、たくさんの刺激ももらい、励ましあいながら取り組むことができ楽しかったです。
毎日の講義や GW・試験・実習等は、もちろん楽ではなかったです。何よりも自分のできない部分・弱い部分を正面から見つめなおす機会でもありました。共に頑張れた同期はもちろんですが、支えてくれた職場の皆様への感謝の気持ちも大きかったです。

Q　<u>資格取得後の院内での活動を教えてください</u>

専従の皮膚・排泄ケア認定看護師で褥瘡管理者の役割を頂いております。
褥瘡対策委員会・NST 委員会の活動、看護外来（ストーマ・創傷等）、院内外からの相談を受けながら、患者さんのケアを行なっています。また、創傷関連特定行為研修受講後は、特定行為（創傷デブリードマン・陰圧閉鎖療法）を各診療科の医師と連携しながら実践しています。

Q　<u>これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします</u>

認定看護師教育の再構築で、特定行為研修もカリキュラムに入ってきており、今後ますます教育体制等は多岐に渡っていくと思います。思いが揺らいだり、目標を見失ってしまう瞬間もあるかもしれませんが、自分の看護観・目指す看護師像を再確認しながら、前に進んでいってほしいと思います。

Q　<u>一日のタイムスケジュールを教えてください</u>

曜日によってかなり違いますが、朝は患者さんの情報をカルテで確認し、ラウンドする優先順位を決めたり、外来予約や処置の時間調整をします。
午前中は、ラウンド・外来・病棟処置等です。午後も同じですが、回診や会議・研修などが入ってきます。相談はその都度院内 PHS で対応して伺いますので、「神出鬼没」と言われることもあります…。

Q　<u>最後に一言お願いします</u>

忙しい毎日だとは思いますが、自分のしたい看護・目指していることは何かなあと考える時間をつくって欲しいと思います。それをまわりの仲間と話せるようにして実現してほしいです。一緒に頑張っていきましょう！

助産師内部養成で助産師資格を取得

宮古病院　4病棟　看護師兼助産師

山﨑　朋絵　さん

Q　**資格取得のきっかけを教えてください**

高校時代から助産師になりたいという夢がありましたが看護学生時代に諸事情により進学を諦めましたので、いつか助産学校に入学したいと考えていました。その後、助産師養成派遣のお話をいただき自分の夢を叶えるために資格取得を決意しました。

Q　**取得までの流れはどうでしたか**

医療局での面接試験があり、その面接で助産学校の受験を認められれば助産学校の一般試験を受験できます。助産学校に合格したら学校の最寄りの県立病院へ異動となり学校の長期休みは勤務し、それ以外は学生として過ごす事になります。国家試験までは学生として学業を優先に学習を行っていました。

Q　**研修中の様子を教えてください**

実習中は毎日が勉強で記録も多かったので辛い時もありましたが、実習先の指導者さんや受け持ちの妊婦さん、褥婦さんとの関わりや会話の中で今後の学びが多かったので楽しく充実した実習となりました。

Q　**資格取得後の院内での活動を教えてください**

資格取得後は看護師として勤務していた経験があることから看護師、助産師としての仕事がどちらでも活かせるためその日により分担された業務内容で勤務しています。しかし、助産師としては新人であるためわからない事や不明な事は聞きながら行動しています。

Q　**一日のタイムスケジュールを教えてください**

時刻	内容	時刻	内容
8:30	出勤・情報収集	13:30	カンファレンス・哺乳
9:00	申し送り・沐浴	14:00	バイタルサイン測定（褥婦）・検査
10:00	バイタルサイン測定・褥婦対応・哺乳	16:00	バイタルサイン測定・哺乳
11:00	沐浴・退院・母児同室指導	17:15	退勤
12:30	昼休憩（1時間）		

Q　**これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします**

在職しながら資格取得を目指すということで大変だというイメージはあると思いますが、学費や毎月の給料の援助を受けながら基本的には学生として過ごせることから充実した日々を過ごすことができました。資格取得は今後の自分の将来のためにもなると思うので頑張ってください。

がん薬物療法認定薬剤師・緩和薬物療法認定薬剤師・緩和指導薬剤師

中央病院　薬剤部　主査薬剤師

高橋　典哉　さん

Q　**資格取得のきっかけを教えてください**

今から数十年前になりますが、学生の頃、親ががんで亡くなり最後に痛みで苦しんでる姿を目の当たりにしましたが、実際自分には知識もなく何もしてあげられなかった苦い経験があり、薬剤師になってからは知識や技能を磨き、がんで苦しむ人に少しでも関わりたいと考えたからです。

Q　**取得までの流れはどうでしたか**

緩和、がんの認定資格を有していますが、私はがん性疼痛の症状緩和に興味があり、緩和の認定資格を最初に取得しました。取得後は、がんを理解するためには、がん治療を知り知識を深めなければ、治療初期から最後まであらゆる場面で患者に対し、きめ細やかに関われないと考えがん薬物療法の認定資格も取得しました。資格取得の条件として必要な単位集め、研究発表等行い条件が揃うだけでも数年かかりました。

Q　**研修中の様子を教えてください**

一番は環境が大きく変わったことだと思います。通常業務を行っていたのが、急に研修となり集中的に勉強できる環境にはなりました。しかし、その反面、研修を終了し資格試験に合格しなくてはならないというプレッシャーは大きかったです。逆にプレッシャーがあることで踏ん張って頑張れたのかもしれません。

Q　**資格取得後の院内での活動を教えてください**

チーム活動への参加は資格取得前後で大きく活動に差はありませんが、資格取得後は、これまで患者に関わった経験や知識も加わり、医師や他の医療スタッフに対して自分の考えを自信を持って話せるようになりました。院内では研修会の講師なども行うようにもなりました。

Q　**これから資格取得を目指す方へのアドバイス**

薬剤師の業務はここ数年で飛躍的に進化し、多岐にわたりました。その分、専門・認定資格というものが誕生し、現場で各部門のリーダーとして活躍している薬剤師が多数います。これから資格取得を目指す方は、そのリーダー達のもと様々な業務や経験を積んで、その中で自分が創造する薬剤師＝目標というものを決め邁進してもらいたいです。薬剤師として必要な様々な業務を経験してから自分の目指す姿を決めてもらえればと思います。

Q　**一日のタイムスケジュールを教えてください**

午前中は、ほとんど毎日化学療法業務（調製、鑑査、指導）を行っています。午後は、日によって違いますが、医師の外来診療支援業務、チーム活動やミーティングへの参加、ポリファーマシー対策活動、翌日分の化学療法準備等を行っています。

Q　**最後に一言お願いします**

これからの薬剤師へ:日々の業務に流され何となく１日が終わるのではなく、常に様々な考えを持って業務に望むことで新たな刺激やそこから楽しさが生まれ、結果、将来の展望へと発展することもあると思うので毎日を大事にして欲しいと思います。

今後も様々な職種でスキルアップしている職員を紹介していきますのでお楽しみに☆☆